

すこやかちゃん



りんたろう
凛太郎ちゃん(平成19年2月9日生)
両親＝鬼塚智行・奈穂子さん〔三川〕
「パワー全開！絶好調
元気印の凛太郎です(^_^)!!」



たかや
孝綾ちゃん(平成18年10月3日生)
両親＝鈴木孝幸・綾子さん〔新町〕
「ぼくの車カッコイイでしょ！
将来はF1ドライバー!!」



だいき
大幹ちゃん(平成18年7月25日生)
両親＝金谷健二・淳子さん〔鎌数〕
「ボク、ものまね上手だよ！」

すこやかちゃんを募集しています

掲載ご希望の方は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、保健センター、海上保健センター、飯岡保健センター、干潟保健センター、秘書広報課にあります。



紙上展示室 ―旭モノ語り― 第三十二回

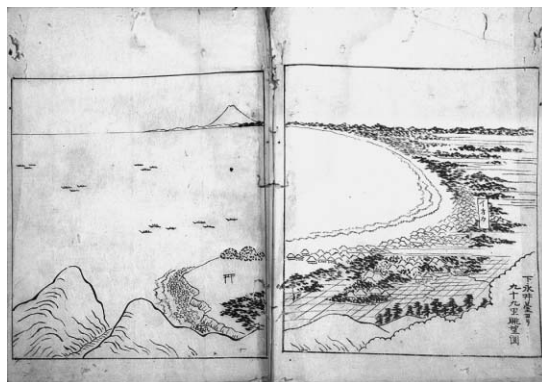
九十九里眺望図

国学者として活躍した宮負定雄、
彼は多くの著作を残しましたが、その一つに下総の地誌である「下総名勝図絵」があります。

下総国の領域は広く、香取・海上・匝瑳の千葉県北部から、葛飾・相馬・千葉・印旛・埴生・猿島・結城の茨城県南西部にまたがる十二郡からなります。自ら各地を訪ね歩き、名所旧跡の記録を精力的に収集し編まれた本書は、当時の景観・風俗を誇張や偏見のない描写で綴られています。刊行には至らなかったのですが、各所に残る草稿は、貴重な歴史的資料として高く評価されています。

この書の最大の特徴は、その豊富な挿絵にあります。現在の旭市域の風景も多く収録されています。今回はその中の一点「下永井臺(台)ヨリ九十九里眺望図」と題された場面をご紹介します。

手前の下永井の台地の下に見える鳥居は玉崎神社、浜に沿って並ぶ屋根、「イオカ」の集落、画面上方に向かって湾曲する九十九里浜、海上に浮かぶいくつもの船の影、そしてそのほか先、富士山がはっきりと描かれています。当時は、こうして



日中もはつきりとその姿を見ることができたのでしょう。

この眺望、現在もまったく同じ構図を刑部岬展望館から望むことができます。見比べてみると、宮負定雄の筆致の正確さには感心するばかり。ただし、今は富士山が拝めるのは年に数えるほどになりました。百六十年前と変わらぬ眺望スポットですが、現在は漁港が整備され、公園が登場し、美しい夜景を楽しめるスポットに変貌をとげています。

〔大原幽学記念館 猪野映里子〕

暮らしのカレンダー

3日(月)	旭中央病院附属看護専門学校卒業式
7日(金)	東総工業高校卒業式
8日(土)	旭農業高校卒業式
14日(金)	一中・海上中・飯岡中・干潟中卒業式
15日(土)	二中卒業式
17日(月)	市県民税、所得税の申告受付締切
19日(水)	市内小学校卒業式(中央・琴田・富浦・矢指・鶴巻・滝郷小を除く)
20日(木)	春分の日 熊野神社の神楽
21日(金)	中央・琴田・富浦・矢指・鶴巻・滝郷小卒業式

古紙配合100%再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

市内局番「60→50」「50→60」へかけるときは「0479」が必要です。

編集後記

寒さのピークも過ぎ、一日ごとに温かさが増していくのを感じられる季節になりました。先月は、人権について考えようという催しが、市内でありました。その中で驚いたのが、人権に関する作文を発表した中学生。作文が上手だということもあったと思いますが、直接本人から語られる言葉には、文字では伝わらない重みを感じました。青少年の意見発表大会など、いろいろな催しで小中学生らによる発表が行われています。また機会を見つければ、聞いてみたいと思います。
(S)